

令和元年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S11-04-01		
施設名	道路				
所在地					
部課名	防災都市づくり部道路公園課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築		国・都	区債	一般財源
	増改築①				
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日			常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日			職員数		
構造			階層		
面積	敷地面積	1,233,355㎡			
	延床面積	-㎡			
設置目的・経緯	道路網の整備を図ることにより、街づくりの骨格となるとともに、交通の発達に寄与し、公共の福祉を推進する。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	道路法				
駐車場の状況	無	バリアフリー	● エレベーター	○ だれでもトイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	● 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-		期間	-	から	まで
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・道路 : 197,822m ・管理通路 : 7,775m ・認定外 : 5,532m 						
対象者	一般区民他						
運営時間等	運営時間	-					
	休日	-					
施設基本データ等		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(見込み)	
に指定管理に係る費用等							
備考							

III 財務諸表

(単位:千円)

勘定科目		H29年度	H30年度	差額	勘定科目	H29年度	H30年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	251,288	267,132	15,844	国庫支出金	17,215	9,500	▲ 7,715
	維持補修費	341,967	379,542	37,575	都支支出金	9,595	21,762	12,167
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	5,653	0	▲ 5,653	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	71,022	71,022	0	その他	148	0	▲ 148
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	26,958	31,262	4,304
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 712,761	▲ 736,064	▲ 23,303
	その他行政費用	69,789	49,630	▲ 20,159	金融収支差額(d)	▲ 1,585	▲ 1,441	144
	行政費用合計(b)	739,719	767,326	27,607	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 714,346	▲ 737,505	▲ 23,159
特別費用(g)	11,757	2,581	▲ 9,176	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	▲ 11,757	▲ 2,581	9,176	当期収支差額(e)+(h)	▲ 726,103	▲ 740,086	▲ 13,983	
貸借対照表	流動資産				流動負債			
	収入未済	497	367	▲ 130	還付未済金	9,726	13,538	3,812
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	9,726	13,538	3,812
	有形固定資産	185,481,203	185,902,289	421,086	賞与引当金	0	0	0
	土地	174,724,361	174,982,029	257,668	その他の流動負債	0	0	0
	建物	0	0	0	固定負債	127,974	114,436	▲ 13,538
	建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	127,974	114,436	▲ 13,538
	工作物等	11,571,220	11,805,660	234,440	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 814,378	▲ 885,400	▲ 71,022	その他の固定負債	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	137,700	127,974	▲ 9,726	
建設仮勘定	17,011	75,358	58,347	正味財産	185,361,011	185,850,040	489,029	
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	185,361,011	185,850,040	489,029	
資産の部合計	185,498,711	185,978,014	479,303	負債及び正味財産の部合計	185,498,711	185,978,014	479,303	
備考	行政費用の物件費は光熱水費及び委託料、維持補修費は委託料の増加が主な要因でそれぞれ増えたと考えられる。また、固定資産の土地は優先整備路線等、工作物等は細街路拡幅工事等の事業進捗が主な増加要因となっている。							

指標		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
財務指標 ・ 評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	3	7	7.5	
	管理面積1m当たり年間コスト(円)	-	668	600	622	
	区民1人当たり年間コスト(円)	-	3,864	3,470	3,599	
	1日当たりコスト(円)	-	2,257,011	2,026,627	2,102,263	
	区道1m当たりコスト(円)	-	3,902	3,504	3,634	
備考						

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)						
目標指標	指標名・単位	目標値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
	道路延長(m)	実績値	197,667	197,667	197,822	197,822	197,822
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()						
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ	バリアフリー化、安全対策、無電柱化のニーズが高い。						
現状・課題	<p>○平成26年度に実施した道路ストック総点検の結果を踏まえ、危険な箇所については既に対応が完了しているが、引き続き損傷や陥没等の早期発見に努めていく必要がある。</p> <p>○路面下で発生している空洞が原因となり、道路陥没が発生することで、重大な事故に繋がるほか、災害時には避難路としての機能や災害救援活動への影響が懸念される。</p> <p>○都市計画道路については、整備率58.1%で、近年は変動のない状況となっており、整備箇所周辺の建物状況や防災面での緊急性等から優先順位を設定して取り組む必要がある。</p> <p>○電柱が防災性や安全な通行、景観形成を阻害しているため、都市計画道路以外の既設道路や歩道のない路線についても、無電柱化を推進する必要がある。</p>						
課題に対する現時点での考え	<p>○道路ストック総点検の成果を基に、引き続き計画的に補修を実施する。</p> <p>○路面下空洞調査の結果を踏まえ、計画的に補修工事等を実施する。</p> <p>○都市計画道路の整備は、地域の防災性や安全性等を考慮し、優先順位を定めて計画的に実施する。</p> <p>○無電柱化推進計画を策定し、計画的な整備を実施する。</p>						
議会、利用者等からの意見	<p>○平成27年9月決特 無電柱化の推進について</p> <p>○平成29年2月予特 道路下空洞調査について</p> <p>○平成30年2月予特 排水性道路の整備について</p> <p>○令和元年6月 車道と歩道の段差解消について</p>						

令和元年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S11-04-02		
施設名	橋梁				
所在地	3か所				
部課名	防災都市づくり部道路公園課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築				
	増改築①				
併設施設					
竣工年月日			常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日			職員数		
構造			階層		
面積	敷地面積				m ²
	延床面積				m ²
設置目的・経緯	人の移動や物資の輸送のため、鉄道を跨いで架橋する。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	道路法				
駐車場の状況	無	バリアフリー	● エレベーター	○ だれでもトイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	● 点字ブロック	○ スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-		期間	-	から	まで
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第二日暮里跨線道路橋：昭和41年架橋 橋長 52.50m 幅員 5.0m プレートガーダー橋 ・ 下御隠殿坂跨線道路橋：平成 7年架橋 橋長 91.98m 幅員14.2m ラーメン橋 ・ 紅葉坂跨線人道橋：昭和 3年架橋 橋長106.60m 幅員 4.0m I形桁橋 						
対象者	一般区民他						
運営時間等	運営時間	-					
	休日	-					
施設基本データ等		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (見込み)	
に指定管理に係る費用等							
備考							

III 財務諸表

(単位:千円)

		勘定科目	H29年度	H30年度	差額	勘定科目	H29年度	H30年度	差額
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
		物件費	2,249	1,868	▲ 381	国庫支出金	0	0	0
		維持補修費	26,624	50	▲ 26,574	都支支出金	0	0	0
		扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
		減価償却費	65,751	65,751	0	その他	0	0	0
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 94,624	▲ 67,669	26,955
		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
		行政費用合計(b)	94,624	67,669	▲ 26,955	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 94,624	▲ 67,669	26,955
		特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
		特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 94,624	▲ 67,669	26,955
貸借対照表	固定資産	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0
		不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
		有形固定資産	2,411,351	2,345,600	▲ 65,751	賞与引当金	0	0	0
		土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
		建物	0	0	0	固定負債	0	0	0
		建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	0	0	0
		工作物等	3,891,693	3,891,693	0	退職給与引当金	0	0	0
		工作物等減価償却累計額	▲ 1,480,342	▲ 1,546,093	▲ 65,751	その他の固定負債	0	0	0
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0
		建設仮勘定	23,819	60,215	36,396	正味財産	2,435,170	2,405,815	▲ 29,355
		その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	2,435,170	2,405,815	▲ 29,355
資産の部合計	2,435,170	2,405,815	▲ 29,355	負債及び正味財産の部合計	2,435,170	2,405,815	▲ 29,355		
備考	行政費用では、減価償却費がそのほとんどを占めている。								

	指標	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	22	38	39.7	
	区民1人当たり年間コスト(円)	-	330	444	317	
	1日当たりコスト(円)	-	192,800	259,244	185,395	
備考						

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 (計画名: 荒川区橋梁長寿命化修繕計画)					
目標指標	指標名・単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
	橋梁点検・調査数	目標値 実績値	3			2
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他()					
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ	バリアフリー化へのニーズが高い。					
現状・課題	<input type="radio"/> 紅葉坂跨線人道橋 ・老朽化が進み、バリアフリー化にも対応していない。 <input type="radio"/> 橋梁全般 ・老朽化及びそれに伴う維持管理費の増大に対応する必要がある。 ・跨線道路橋は、鉄道営業路線上空を跨いでおり、補修工事を行うには、莫大な経費と工事期間が必要となる。					
課題に対する現時点での考え	<input type="radio"/> 紅葉坂跨線人道橋 ・バリアフリー化の一環として、エレベーターの設置を検討していく。 <input type="radio"/> 橋梁全般 ・従来の事後保全型の維持管理から、予防保全型の維持管理へ転換を図る。 ・跨線道路橋については、鉄道事業者と十分に協議を行い、計画的な補修を検討していく。 ・橋梁長寿命化を図るため、道路法に基づく橋梁定期点検・調査を実施していく。					
議会、利用者等からの意見	<input type="radio"/> 平成27年度11月会議 紅葉坂跨線人道橋の架替について <input type="radio"/> 平成28年度2月会議 紅葉坂跨線人道橋の整備について <input type="radio"/> 平成30年度2月会議 紅葉坂跨線人道橋のバリアフリー化について					

令和元年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S11-04-03		
施設名	荒川自然公園				
所在地	荒川八丁目25番3号				
部課名	防災都市づくり部道路公園課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	昭和47~49年	136,160	国・都	区債
	増改築①	昭和52~53年	306,580		一般財源
	増改築②	平成5~6年	937,300		
併設施設					
竣工年月日			常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	昭和49年 4月26日	職員数	25	0	
構造		階層			
面積	敷地面積	61,068㎡			
	延床面積	- ㎡			
設置目的・経緯	周辺環境を改善するため、三河島処理場(現三河島水再生センター)を覆蓋して公園を整備。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区立自然公園条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー 対応状況	●エレベーター ●点字ブロック	●だれでもトイレ ●スロープ	
駐輪場の状況	有				



II 管理運営の状況

管理形態	委託	株式会社富士植木	期間	平成31年 4月1日 令和 4年 3月31日	から まで	
事業内容	維持管理、施設利用許可、利用案内、植栽管理、動物等管理、園内巡視、施設等保守管理、昇降機管理、修繕、備品管理、利用促進、腐葉土維持管理、ホタル観賞用施設設置・撤去					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前7時~午後5時(季節・区域において異なる)				
	休日	毎月第1・第3木曜日、年末年始(12月29日~翌年1月3日)				
施設基本データ等	交通園年間利用者数(人)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(見込み)
	庭球場年間利用者数(人)	222,622	197,622	159,694	157,245	160,000
	野球場年間利用者数(人)	33,255	30,305	30,815	29,220	30,000
	年間団体利用件数(件)	4,905	4,251	4,177	3,859	4,000
		132	117	107	117	110
に指定 に係る 費用 等						
備考						

III 財務諸表

(単位:千円)

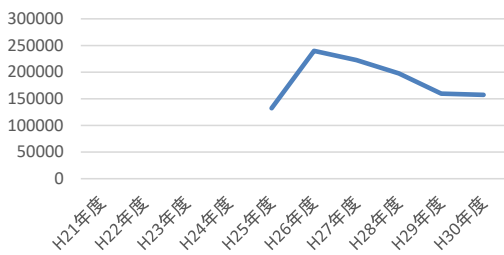
勘定科目		H29年度	H30年度	差額	勘定科目	H29年度	H30年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	69,078	73,517	4,439	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	12,506	9,333	▲ 3,173	都支支出金	683	0	▲ 683
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	521	89	▲ 432	使用料及び手数料	8,945	8,753	▲ 192
	減価償却費	10,062	10,334	272	その他	0	0	0
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	9,628	8,753	▲ 875
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 83,885	▲ 113,993	▲ 30,108
	その他行政費用	1,346	29,473	28,127	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	93,513	122,746	29,233	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 83,885	▲ 113,993	▲ 30,108
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 83,885	▲ 113,993	▲ 30,108	
貸借対照表	勘定科目	H29年度	H30年度	差額	勘定科目	H29年度	H30年度	差額
	流動資産				流動負債			
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	88,804	86,744	▲ 2,060	その他の流動負債	0	0	0
	土地	0	0	0	固定負債	0	0	0
	建物	215,909	215,909	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 140,152	▲ 149,461	▲ 9,309	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	842,805	851,079	8,274	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 829,759	▲ 830,783	▲ 1,024	負債の部合計	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	正味財産	88,804	86,744	▲ 2,060	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	88,804	86,744	▲ 2,060	
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	88,804	86,744	▲ 2,060	
資産の部合計	88,804	86,744	▲ 2,060					
備考	光熱水費や委託料の増加により物件費が多くかかっている。また、工事請負費の減少により維持補修費が少なくなっている。							

指標		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	58	92	91.9	
	管理面積1㎡当たり年間コスト(円)	-	1,392	1,531	2,010	
	区民1人当たり年間コスト(円)	-	399	438	576	
	1日当たりコスト(円)	-	253,806	256,200	366,406	
備考						

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
	目標値 実績値					
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他()					
管理形態の変更の推移	<input checked="" type="radio"/> 有 (変更内容: 平成19年度:直営から業務委託に変更) <input type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ	地域の行楽・憩いの場として幅広い年齢層の方々に利用されている。また、近隣区からの利用者も多い。					
現状・課題	<input type="radio"/> 老朽化した施設について、機能回復及び安全性の確保を図る必要がある。 <input type="radio"/> バリアフリー化していないトイレのバリアフリー化について検討する。					
課題に対する現時点での考え	<input type="radio"/> 施設の定期点検に基づき、緊急性や重要性の高い施設から計画的に更新していく。 <input type="radio"/> 東京都下水道局と連携を図りながら、トイレ施設の整備について検討していく。					
議会、利用者等からの意見	<input type="radio"/> 平成25年2月予特 バリアフリーに対応したトイレについて <input type="radio"/> 平成28年9月決特 公衆・公園トイレの改修について					

交通園年間利用者数(人)



年間団体利用件数(件)



令和元年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S11-04-04		
施設名	その他公園				
所在地	34か所				
部課名	防災都市づくり部道路公園課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築				
	増改築①				
併設施設					
竣工年月日			常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日			職員数		
構造			階層		
面積	敷地面積		95,142 m ²		
	延床面積		m ²		
設置目的・経緯	人々のレクリエーションの空間の提供、良好な都市景観の形成、都市環境の改善、都市の防災性の向上等を図る。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	都市公園法・荒川区立公園条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	○エレベーター	●だれでもトイレ	
駐輪場の状況	有	対応状況	●点字ブロック	●スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から まで	
事業内容	園内の清掃、樹木の剪定、遊具の安全点検及び修繕、電気施設の保守、その他施設の維持					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	-				
	休日	-				
施設基本データ等		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(見込み)
	整備箇所数(累計)	31	33	34	34	34
に指定 に係る 管理 費用等						
備考						

III 財務諸表

(単位:千円)

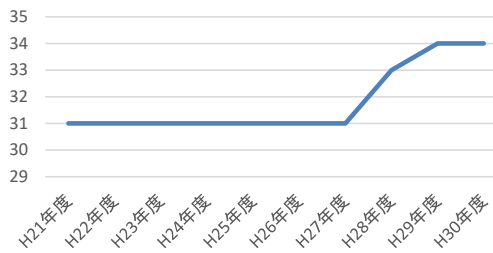
		勘定科目	H29年度	H30年度	差額	勘定科目	H29年度	H30年度	差額
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
		物件費	151,073	160,582	9,509	国庫支出金	0	2,000	2,000
		維持補修費	11,025	22,710	11,685	都支支出金	2,484	11,050	8,566
		扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	13	792	779	使用料及び手数料	0	0	0
		減価償却費	39,295	41,199	1,904	その他	0	0	0
		不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	2,484	13,050	10,566
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 217,915	▲ 255,246	▲ 37,331
		その他行政費用	18,993	43,013	24,020	金融収支差額(d)	▲ 470	▲ 201	269
		行政費用合計(b)	220,399	268,296	47,897	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 218,385	▲ 255,447	▲ 37,062
		特別費用(g)	797,416	0	▲ 797,416	特別収入(f)	791,631	0	▲ 791,631
特別収支差額(f)-(g)=(h)	▲ 5,785	0	5,785	当期収支差額(e)+(h)	▲ 224,170	▲ 255,447	▲ 31,277		
貸借対照表	固定資産	流動資産				勘定科目	H29年度	H30年度	差額
		収入未済	0	0	0	流動負債	24,400	0	▲ 24,400
		不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0	特別区債	24,400	0	▲ 24,400
		有形固定資産	21,063,495	21,696,493	632,998	賞与引当金	0	0	0
		土地	20,636,765	21,256,586	619,821	その他の流動負債	0	0	0
		建物	374,554	374,554	0	固定負債	0	0	0
		建物減価償却累計額	▲ 164,884	▲ 175,189	▲ 10,305	特別区債	0	0	0
		工作物等	1,496,773	1,551,150	54,377	退職給与引当金	0	0	0
		工作物等減価償却累計額	▲ 1,279,714	▲ 1,310,608	▲ 30,894	その他の固定負債	0	0	0
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	24,400	0	▲ 24,400
建設仮勘定	0	23,411	23,411	正味財産	21,046,545	21,727,354	680,809		
その他の固定資産	7,450	7,450	0	正味財産の部合計	21,046,545	21,727,354	680,809		
資産の部合計	21,070,945	21,727,354	656,409	負債及び正味財産の部合計	21,070,945	21,727,354	656,409		
備考	委託料等の増加に伴い物件費が多くなっている。また、設計委託等の委託料や工事請負費が増えたことで維持補修費が増加している。								

指標		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	84	77	77.2	
	管理面積1㎡当たり年間コスト(円)	-	3,591	2,316	2,820	
	区民1人当たり年間コスト(円)	-	1,602	1,034	1,258	
	1日当たりコスト(円)	-	936,027	603,832	735,058	
	1か所当たり年間コスト(円)	-	10,048,529	6,482,323	7,891,059	
備考						

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
	公園・児童遊園面積(ha)	目標値 -	実績値 43	-	43	-
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	町会等のイベントや保育園の利用が多い。ボール遊びができる施設へのニーズが高い。					
現状・課題	○「荒川区花と緑の基本計画」で掲げている公園等面積55.2haを目指し、公園等面積を着実に増加させてきているが、引き続き目標達成を図るため整備を続ける必要がある。 ○老朽化した施設について、機能回復及び安全性の確保を図る必要がある。 ○バリアフリー化していないトイレのバリアフリー化について検討する。					
課題に対する現時点での考え	○公園等面積の整備目標達成に向けて、都市計画公園の整備を着実に実施するとともに、防災や防犯の観点をもって、地域バランスを考慮しつつ、更なる用地の確保に努める。 ○施設の定期点検に基づき、緊急性や重要性の高い施設を計画的に更新していく。					
議会、利用者等からの意見	○平成27年度11月会議 ドッグランの設置について ○平成28年度6月会議 ボール遊びができる公園について ○平成28年度9月決特 公衆・公園トイレの改修について ○平成29年度2月会議 公園等のオープンスペースの活用促進について					

整備箇所数(累計)



令和元年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S11-04-05		
施設名	児童遊園				
所在地	72か所				
部課名	防災都市づくり部道路公園課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築				
	増改築①				
併設施設					
竣工年月日			常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日			職員数		
構造			階層		
面積	敷地面積			34,640	m ²
	延床面積			-	m ²
設置目的・経緯	児童に健全な遊び場を提供し、その健康を増進するとともに情操を豊かにする。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区立児童遊園条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	○エレベーター	●だれでもトイレ	
駐輪場の状況	有	対応状況	●点字ブロック	●スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から	
事業内容	園内の清掃、樹木の剪定、遊具の安全点検及び修繕、電気施設の保守、その他施設の維持					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	-				
	休日	-				
施設基本データ等		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(見込み)
	整備箇所数(累計)	73	73	72	72	71
に指定管理に係る費用等						
備考						

III 財務諸表

(単位:千円)

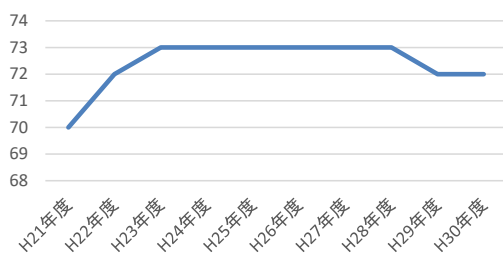
勘定科目		H29年度	H30年度	差額	勘定科目	H29年度	H30年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	48,938	48,256	▲682	国庫支出金	300	0	▲300
	維持補修費	7,560	16,905	9,345	都支支出金	6,211	1,145	▲5,066
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	641	1,740	1,099	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	15,658	16,950	1,292	その他	0	0	0
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	6,511	1,145	▲5,366
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲107,845	▲96,915	10,930
	その他行政費用	41,559	14,209	▲27,350	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	114,356	98,060	▲16,296	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲107,845	▲96,915	10,930
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	252	0	▲252	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	252	0	▲252	当期収支差額(e)+(h)	▲107,593	▲96,915	10,678	
貸借対照表	流動資産				流動負債			
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	5,831,930	5,815,329	▲16,601	その他の流動負債	0	0	0
	土地	5,691,165	5,681,925	▲9,240	固定負債	0	0	0
	建物	52,613	52,613	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲34,015	▲34,969	▲954	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	802,245	811,834	9,589	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲680,078	▲696,074	▲15,996	負債の部合計	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	5,831,930	5,823,429	▲8,501
	建設仮勘定	0	8,100	8,100	正味財産の部合計	5,831,930	5,823,429	▲8,501
	その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	5,831,930	5,823,429	▲8,501
資産の部合計	5,831,930	5,823,429	▲8,501					
備考	工事請負費の増加により維持補修費が多くなっている。							

指標		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
財務指標・ 評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	84	83	84.6	
	管理面積1㎡当たり年間コスト(円)	-	2,729	3,413	2,762	
	区民1人当たり年間コスト(円)	-	454	536	460	
	1日当たりコスト(円)	-	265,389	313,304	268,658	
	1か所当たり年間コスト(円)	-	1,326,945	1,566,520	1,343,288	
備考						

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
	公園・児童遊園面積(ha)	目標値 -	実績値 43	-	43	-
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	防災施設へのニーズが高い。					
現状・課題	○「荒川区花と緑の基本計画」で掲げている公園等面積55.2haを目指し、公園等面積を着実に増加させてきているが、引き続き目標達成を図るため整備を続ける必要がある。 ○老朽化した施設について、機能回復及び安全性の確保を図る必要がある。 ○バリアフリー化していないトイレのバリアフリー化について検討する。					
課題に対する現時点での考え	○公園等面積の整備目標達成に向けて、都市計画公園の整備を着実に実施するとともに、防災や防犯の観点をもって、地域バランスを考慮しつつ、更なる用地の確保に努める。 ○施設の定期点検に基づき、緊急性や重要性の高い施設を計画的に更新していく。					
議会、利用者等からの意見	○平成21年2定 密集地域における公園用地確保について ○平成28年9月決特 公衆・公園トイレの改修について ○平成29年2月予特 児童遊園の多機能型トイレについて ○令和元年6月 児童遊園総点検について					

整備箇所数(累計)



令和元年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S11-04-06		
施設名	グリーンスポット等				
所在地	22か所				
部課名	防災都市づくり部道路公園課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築				
	増改築①				
併設施設					
竣工年月日			常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日			職員数		
構造			階層		
面積	敷地面積		14,461 m ²		
	延床面積		-		
設置目的・経緯	公園や児童遊園を補完するとともに、身近な居住環境の向上を図る。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例					
駐車場の状況	無	バリアフリー	○エレベーター	●だれでもトイレ	
駐輪場の状況	有	対応状況	●点字ブロック	●スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から	
事業内容	園内の清掃、樹木の剪定、遊具の安全点検及び修繕、電気施設の保守、その他施設の維持					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	-				
	休日	-				
施設基本データ等		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(見込み)
	グリーンスポット整備箇所数(累計)	15	15	15	15	15
	広場整備箇所数(累計)	5	6	6	7	7
に指定管理に係る費用等						
備考						

III 財務諸表

(単位:千円)

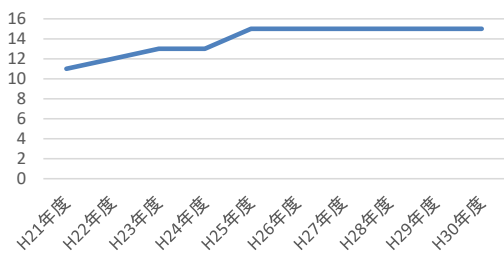
勘定科目		H29年度	H30年度	差額	勘定科目		H29年度	H30年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0	
	物件費	4,489	16,152	11,663	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	271	125	▲146	都支支出金	1,221	0	▲1,221	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	12,534	10,649	▲1,885	その他	0	0	0	
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	1,221	0	▲1,221	
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲16,073	▲58,401	▲42,328	
	その他行政費用	0	31,475	31,475	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	17,294	58,401	41,107	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲16,073	▲58,401	▲42,328	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲16,073	▲58,401	▲42,328		
貸借対照表	勘定科目	H29年度	H30年度	差額	勘定科目	H29年度	H30年度	差額	
	流動資産	0	0	0	流動負債	0	0	0	
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0	
	有形固定資産	3,098,851	3,146,674	47,823	賞与引当金	0	0	0	
	土地	3,012,272	3,012,699	427	その他の流動負債	0	0	0	
	建物	18,591	37,541	18,950	固定負債	0	0	0	
	建物減価償却累計額	▲8,275	▲8,789	▲514	特別区債	0	0	0	
	工作物等	320,292	359,387	39,095	退職給与引当金	0	0	0	
	工作物等減価償却累計額	▲244,029	▲254,163	▲10,134	その他の固定負債	0	0	0	
無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0		
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	3,098,851	3,146,674	47,823		
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	3,098,851	3,146,674	47,823		
資産の部合計	3,098,851	3,146,674	47,823	負債及び正味財産の部合計	3,098,851	3,146,674	47,823		
備考	委託料等が増えたことにより物件費が多くなっている。								

指標		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	71	74	66.2	
	管理面積1㎡当たり年間コスト(円)	-	6,080	2,138	7,222	
	区民1人当たり年間コスト(円)	-	231	81	274	
	1日当たりコスト(円)	-	134,699	58,394	160,003	
	1か所当たり年間コスト(円)	-	2,341,190	1,014,952	2,781,000	
備考						

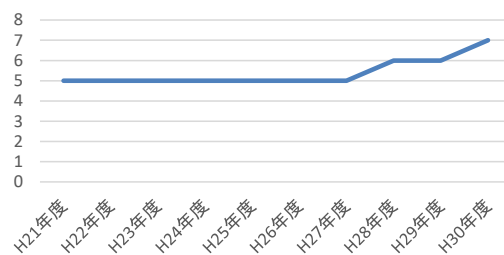
IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
	目標値 実績値					
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	防災施設へのニーズが高い。					
現状・課題	○一部のグリーンスポットにおいては、区との協定に基づき、町会が維持・管理を行っている。					
課題に対する現時点での考え	○現在、委託により維持・管理を行っているグリーンスポットについても、区民との協働による維持・管理を検討していく。					
議会、利用者等からの意見						

グリーンスポット整備箇所数(累計)



広場整備箇所数(累計)



令和元年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S11-04-07		
施設名	土木管理事務所				
所在地	東日暮里三丁目7番17号				
部課名	防災都市づくり部道路公園課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	平成元年 101,450	国・都	区債	一般財源
	増改築①				
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	平成 2年 3月31日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成 2年 4月 1日	職員数	7	0	
構造	鉄骨造	階層	地上2階		
面積	敷地面積	467㎡			
	延床面積	360㎡			
設置目的・経緯	道路・公園等の維持管理作業を行う作業員の詰所として設置。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例					
駐車場の状況	無	バリアフリー	○エレベーター	○だれでもトイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	○点字ブロック	○スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	—	期間	—	から	
事業内容	道路及び公園等の維持補修					
対象者	土木管理事務所職員					
運営時間等	運営時間	—				
	休日	—				
施設基本データ等		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(見込み)
に指定管理に係る費用等						
備考						

III 財務諸表

(単位:千円)

勘定科目		H29年度	H30年度	差額	勘定科目	H29年度	H30年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	44,934	46,429	1,495	地方税等	0	0	0
	物件費	3,046	2,619	▲ 427	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	8,521	596	▲ 7,925	都支支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	68	68	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	3,348	3,348	0	その他	0	0	0
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	9,925	4,163	▲ 5,762	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 69,842	▲ 57,223	12,619
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	69,842	57,223	▲ 12,619	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 69,842	▲ 57,223	12,619
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 69,842	▲ 57,223	12,619	
貸借対照表	勘定科目	H29年度	H30年度	差額	勘定科目	H29年度	H30年度	差額
	流動資産	0	0	0	流動負債	2,455	2,616	161
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	有形固定資産	457,329	453,981	▲ 3,348	賞与引当金	2,455	2,616	161
	土地	449,619	449,619	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	101,450	101,450	0	固定負債	35,752	35,612	▲ 140
	建物減価償却累計額	▲ 93,740	▲ 97,088	▲ 3,348	特別区債	0	0	0
	工作物等	5,083	5,083	0	退職給与引当金	35,752	35,612	▲ 140
	工作物等減価償却累計額	▲ 5,083	▲ 5,083	0	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	38,207	38,228	21
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	419,122	415,753	▲ 3,369	
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	419,122	415,753	▲ 3,369	
資産の部合計	457,329	453,981	▲ 3,348	負債及び正味財産の部合計	457,329	453,981	▲ 3,348	
備考	行政費用では、給与関係費が主たる支出である。 29年度に大規模なシャッター修繕を実施したことから、30年度の維持補修費は大幅に減額している。							

指標		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	87	93	95.9	
	1㎡当たりコスト(円)	-	160,550	194,006	158,953	
備考						

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 (計画名: _____)					
目標指標	指標名・単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
	目標値 実績値					
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他(_____)					
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容: _____) <input checked="" type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ	道路及び公園等の維持補修を行う作業員の詰所として必要不可欠である。					
現状・課題	○老朽化した建築物全体の計画的修繕を実施する必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○施設の機能・性能の保全に努めながら、大規模改修及び修繕を計画的に推進する。					
議会、利用者等からの意見						